

始動

安全と安心を守る 決意を新たに

1月6日、町消防団(長岡宏団長)および婦人消防協力隊(元村トモ隊長)の出初式と、交通指導隊(緑川猛雄隊長)および防犯指導隊(土谷典雄隊長)の初点検が社会体育館で行われました。参加した団員や隊員らは、住民の安全と安心を守る決意を新たにしていました。

出初式には、団員170人、自動車ポンプ8台、小型動力ポンプ11台、婦人消防協力隊53人が参加。統監の鈴木重男町長は、来賓とともに観閲を

行い「高齢化の進む中、地域に密接した消防団活動は、重要性がますます高まっています。消防団のより一層の精進に期待します」とあいさつ。

防犯指導隊8人が参加。両指導隊員は、鈴木町長から身分証や警笛などの点検を受けました。「皆さんの地域に密着した活動は、大きな成果を挙げ

ており敬意を表します。町民の安全・安心確保のため、より一層の精進をお願いします」と

鈴木町長は訓示を述べました。また、岩手警察署佐藤副署

長は、「葛巻町は事件・事故の少ない治安の良い町。皆さんの日ごろの献身的な活動に、心から感謝と敬意を表します」とあいさつしました。隊員らは、町民の交通安全と安心な暮らしを守るための決意を新たに、今年一年をスタート



交通指導隊



防犯指導隊

岩手警察署では「鍵かけは家に！ 車に！ 自転車に！」と「ハードロック」運動を実施しています。昨年、町内でも自転車や自動車の盗難事件がありました。

寒いと家からさらに出にくくなり、高齢者世帯などでは除雪も大変だと思えます。隣近所や地域で助け合い、声を掛け合って欲しいですね。

冬道の運転に気をつけて



岩手警察署
葛巻駐在所
千田久行 所長

今年、積雪・寒さとも大変厳しい冬となっています。

そのためスリップが原因による交通事故も例年より増えています。路面の状況、行き先の天候、あらかじめ予想した運転が必要で、日陰や橋、トンネルの出入り口などは凍っているのに特に注意してください。「急」のつく運転、急発進、急ハンドル、急ブレーキは横滑りやスリップの原因になります。町内で起きていてる大きな事故は、町外の方が多いため看板などの手立ても必要と感じています。

暖房器具の扱いに注意を



盛岡中央消防署
葛巻分署
高橋功一 分署長

昨年5月から岩手県で待望のドクターヘリが運行を開始、町内から15件の搬送がありました(1月28日現在)。「119番通報の内容」や「傷病者の状況」により消防機関の判断で要請し、本拠地の矢巾町から医師、看護師がヘリに搭乗、約12分で本町へ到着します。大きな事故などは、救急車と同時に要請する仕組みになっています。365日、毎日運航しますが、夜間の離発着や悪天候などの場合、運行できません。

寒さが増し、空気が乾燥するこれらの季節、暖房器具の取り扱いに注意が必要です。給油するときは、必ず火を消してから行い、給油タンクのキャップは、確実に締めましょう。

昨年の町内の火災は3件でしたが、出火率にすると盛岡広域市町村では3番目となっていますので、皆さんのご協力をいただきながら、火災ゼロを目指します。



長岡団長を先頭に力強く分列行進する団員たち



第9分団と第17分団の新しい消防車両

第9分団と第17分団に新しい消防車両

12月26日、町消防団の第9分団(元木地区)に小型ポンプ積載車が、第17分団(田野地区)に消防ポンプ自動車が町から交付されました。第9分団の元村美裕分団長は「本日、小型ポンプ積載車を配属いただきました。有事の際には万全を期したい」と語り、第17分団の平山義治分団長は「これを機に、地域住民の皆さんの安全安心確保のため、今まで以上に防災に努めて参りたい」と決意を新たにしていました。